

◇指針策定の基本的な考え方

指針策定にあたっては、以下の考え方を基本とします。

● ゆるやかな枠組みとして策定

義務や権利を明確化することを目的とするものではなく、まちづくりに関わる様々な主体がお互いを尊重しつつながら、より住みやすいまちにしたいという思いを共有し、協働を促進できる、ゆるやかな枠組みとします。

● 気づきと実践につながる、富谷らしい指針の策定

市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと実践につながる実効性のある指針とします。また、本市の地域性と時代に合った富谷らしい指針の策定にあたり、総合計画と整合性を図り一体的な取組みができるものとします。

● わかりやすい指針の策定

若い世代をはじめ、あらゆる世代の人が読みやすく、多世代が共有できる、わかりやすい指針とします。